

見て、知って、誰かに話したくなるコミュニティ情報紙

FUTABANOWA

ふたばのわ

Vol.144
2025.10.15



特集 P.2・P.3

双葉中学校 生徒交流&体験学習レポート！

～笑顔で結ぶ、交流の輪～

双葉町結ぶ会 夏祭り P.4

今月の表紙

今月の表紙は、双葉中学校体験学習の様子です。2年生たちはダルマの絵付けを体験。指先が汚れることもいわず、真剣なまなざしでダルマ作りに取り組みました。

各学年の活動内容は P.3にて掲載していますので、ぜひご覧ください。

特集

双葉中学校 生徒交流&体験学習レポート！

京丹波町・双葉町子ども交流事業



8月4日から6日までの3日間、「京丹波町・双葉町子ども交流事業」が開催されました。京都市の京丹波町は双葉町の友好町であり、今回は同町の中学校から6人、高等学校から2人の合わせて8人が双葉町を訪れました。この事業は、生徒たちがお互いの文化や暮らしを学び、交流を通じて理解と友情を育むことを目的としています。

オリエンテーションでは自己紹介を通して緊張を和らげたあと、両町の町長との質疑応答を行いました。京丹波町の生徒は双葉町の復興状況や災害への備えについて、双葉町の生徒は京丹波町の観光スポットや特産品などについて熱心に質問を重ねていました。

2日目は災害への意識を高める機会となりました。昼食には、防災用保存食や乾パンを使ったクッキーなどが提供され、午後には宿泊施設へ移動し、互いの学校や町の特産品、伝統文化について発表し合い、理解を深めました。

今回の交流を通して、生徒たちは多くの学びとかけがえのない友情を育んだ3日間となりました。



京丹波町長へ質問をする双葉中学生徒



保存食と乾パンクッキーの昼食



伝統文化の発表

京丹波町・双葉町生徒インタビュー



和知中学校 3年生
川辺 颯大さん

今回の交流会で初めて双葉町を訪れました。交流会では、みんなで話しながら調理する材料を決めたバーベキューがとても盛り上がり、楽しい思い出として印象に残っています。

実際に双葉町を訪れてみると、津波の被害や原発事故を乗り越えて復興している様子がよく分かり、一人一人の努力が伝わってきました。新しい建物も多く見られ、自分が住んでいる町とは違う雰囲気を感じ、とても驚きました。



双葉中学校 3年生
高橋 梨奈さん

交流会には今年で三回目の参加になります。今回特に印象に残ったのは、京丹波町の生徒のみんなと一緒に食事をしたことや、勉強を通して交流できたことです。京丹波町の皆さんと交流する中で、多くのことを学ぶことができました。

昨年は私たちが京丹波町を訪れ、京都の文化などを学ぶ貴重な機会がありました。今年も京丹波町の皆さんに双葉町に来ていただき、福島県や双葉町のことを知ってもらえたのがとても嬉しかったです。

双葉中学校 双葉町体験学習

9月4日、5日の2日間、双葉中学校の生徒が体験学習を行いました。『ふるさとを知る・学ぶ』を目的に双葉町といわき市の企業や施設を訪れ、様々な体験学習や地域住民との交流に取り組みました。それぞれの体験学習の様子を学年別にお伝えします！

1年

1年生は双葉町のスイーツの特産品を自分たちで作りたいと考え、町内や施設を訪ねて町民の声を伺いました。1日目は、地元の特産品を知るために浅野惣糸株式会社双葉事業所を訪問。珍しい機械や製造工程に、生徒たちは関心を寄せていました。午後は町内を散策し、地域の方々に「どんなスイーツがあったら良いか」などのアンケートを実施しました。2日目はアンケート結果からドーナツづくりに挑戦。3種類の試作品を作り、「おいしい!」「もっと工夫できそう」と笑顔で意見を交わしていました。



初めての惣糸見学



惣糸の違いを実感



上手にできたドーナツ!

2年

2年生は「双葉ダルマをPRしたい!ダルマ市を盛り上げたい!」という目標のもと双葉ダルマの調査を行いました。1日目は東日本大震災・原子力災害伝承館で巨大ダルマ引きの双葉ダルマを見学し、実際に双葉ダルマを押し、約700キログラムの重さを体感しました。2日目はJA福島さくら女性部双葉支部にて絵付けを体験し、生徒たちは真剣な表情でダルマを彩りました。丹精込めて絵付したダルマに、ダルマ市を盛り上げる熱意が込められていました。



双葉ダルマの見学



重さを体感!



絵付け体験

3年

3年生は町再興に向けた取り組みへの理解を深めるため、一般社団法人ふたばプロジェクトを訪問しました。1日目は、職員から震災当時の状況や復興への歩み、新たに整備された町の交流施設等について説明を受けながら町内を見学。生徒たちは見学で得た視点を活かし、双葉町の様子をカメラに収めました。その後、撮影した写真をもとにSNSに投稿する文章を作成しました。2日目は、旧双葉駅舎で開催された駅サロンに参加。町民の方々と歌や楽器演奏を通じて会話が弾む場面も見受けられ、心温まる交流の時間を過ごしました。



撮影した写真を発表!



駅サロンにて町民と交流



交流施設「FUTAHOME」を見学



震災当時の話に耳を傾ける生徒たち



SNSに投稿する文章を作成

笑顔で結ぶ、交流の輪

双葉町結ぶ会 夏祭り

8月23日、双葉町駅西住宅広場で「双葉町結ぶ会」による夏祭りが開かれました。

会場では、標葉せんたん太鼓保存会会長・今泉春雄さんによる太鼓体験をはじめ、さまざまな催しが行われました。キッチンカーやかき氷屋も出店し、中でも「こどもかき氷屋さん」では子どもたちが店員となり、「生懸命にかき氷を作る微笑ましい姿が見られました。

盆踊りはその日一番の盛り上がりを見せ、様々な世代が太鼓のリズムに合わせて二つの輪となって踊る光景が広がりました。

当日は、双葉町駅西住宅の住民をはじめ、近隣町村や避難先から訪れた方々を含め約120人の来場者となり、世代や地域を超えて交流が広がる夏祭りとなりました。

「双葉町結ぶ会」は、町内の住民や町にゆかりのある方々が交流を深め、町民のつながりを広げることを目的とした有志の会。「あそこに行けば誰かと出会える」と感じてもらえるように、ひとりにならない居場所づくりを大切に活動しています。

双葉町結ぶ会の共同代表・長谷川久三子さんは「ふらっと、何かのついでに立ち寄ってもらい、訪れた方々の交流のきっかけになるような会にしたい」と語ります。来場者と笑顔で楽しむ姿からも、その想いが感じられました。



町内の放射線モニタリング情報

町内の放射線モニタリング情報は右のQRコードよりご確認ください。
測定値は随時更新中です。

詳細はこちらから
ご覧ください。➡

